

(参考) 第3回 橋本市新庁舎整備検討委員会次第			
1	開会		
2	議事	(4) 今後の進め方について (第5章)	【資料4】
	(1) 第2回整備検討委員会の主な意見と反映	(5) 基本構想検討案 (第1~4章) の確認	【資料5】
	(2) 八幡市視察について【報告】	3 その他 パブリックコメント・次回の議事 (予定) と開催時期について	
	(3) 浸水対策の方向性について	4 閉会	

No.	意見分類	第3回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
1	浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> 浸水時間 (12 時間) が経てばすぐ元通りになるわけではない。物が流れてくることも考えられるため、別ルートが必要。流れてきたものによる二次被害 (車からの火災など) も想定する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次被害も想定し、浸水時の災害対応拠点の考え方、運用方法を検討していく。
2	建設場所 (別の場所)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の拠点となるためには道路が整備されている場所、または整備が可能な場所であることが非常に重要。交通状況からみると防災拠点とするには現庁舎敷地は適しているとは言えないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 場所については、市民の利便性や幹線道路との隣接などを踏まえ設定しており、浸水時に必要な防災拠点機能、庁舎機能の確保についてハード面・ソフト面での対策を行いたいと考えている。 民間を巻き込む際の基本的な方向性・計画を設定するための材料として、建設場所の候補地を示す必要があると考えている。
3		<ul style="list-style-type: none"> 地域発展のための新しい要素をつくる場所がないため、新庁舎を他の場所につくり、現庁舎跡地に新しい用途のものをつくった方がこの地域に新しい動きが生まれるのではないかとと思う。 	
4		<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者が計画している場所に、新庁舎をつくるというのは可能性としてあるのではないかと。民間と一緒に検討が進められる可能性もあり、国道371号に直接アクセスできる点で道路状況もよいと思う。 	
5		<ul style="list-style-type: none"> 民間主導のプロジェクトに乗るのは一つの手だとは思いますが、状況により収益があげられないと判断した場合は手を引かれる点は留意すべき。 	
6	建設場所 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> 市民目線では、実際に利用した際に非常に使いやすくなった、このまちに住んでいて良かったと思える庁舎ができてほしい。そのような観点から土地を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 建設場所の候補地の抽出要件の一つに市民の利便性に関する要件を設定している。 基本計画段階において、導入機能や施設計画を具体的に検討していく。
7		<ul style="list-style-type: none"> 少なくとも新庁舎をつくることで橋本が新しく変わったなと思ってもらえるようにすべき。 	
8		<ul style="list-style-type: none"> 誰のための市役所かを一番先に持ってくる必要があると思う。職員も大事ですが、やはり市民にとって使いやすい庁舎という考え方を計画の中に入れるべきだと思う。 	

No.	意見分類	第3回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
9	建設場所 (現庁舎敷地)	<ul style="list-style-type: none"> 狭い土地であっても階層を増やし、市民の利用が多い窓口を下階、利用頻度の低い窓口を上階に配置することで、執務空間を今よりも広くとることができ、仕事もしやすくなり、市民への対応も良くなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を踏まえ基本計画時に反映していく。
10		<ul style="list-style-type: none"> 今後の人口減少を考えると、コンパクトにすれば現庁舎敷地でも十分可能だと思う。場所を変えることを考えるのも良いと思うが、一からの検討になってしまう点が懸念事項かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎機能等を踏まえ、適切な規模となるよう検討していく。
11		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン上では現庁舎がコアな施設として考えられている。新庁舎を別の場所・現庁舎跡地に別の機能をとの意見もあったが、跡地に何を整備するかを考えてからではないと進めるのは難しい。 	—
12		<ul style="list-style-type: none"> 庁舎が現庁舎敷地でなくなった場合、バス利用者やまちの中心部を通るバスが減少し、今ある公共交通も維持できない可能性も考えられる。 	—
13	現庁舎敷地 今後の検討事項 (道路)	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備は現庁舎敷地では難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討事項として記載しているのは、ハード整備ではなく、道路公共交通の便数確保やバス停から庁舎までのアクセス性の確保等「公共交通の利便性の向上」を想定している。 道路整備については、敷地内通路であれば改善の余地があるが、国道24号等敷地周辺道路の拡幅・新設は難しいと考えている。
14		<ul style="list-style-type: none"> 道路整備について、庁舎ができるまでの完成ではなく、長期的に捉えて、国道24号を介さずに庁舎にアクセスできる計画を別途庁内で検討するべきかと思う。庁舎は数十年使われるため、その間に実現できれば良いと思う。 	
15	(バス交通)	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者は移動が大変に感じる。コミュニティバス等を利用しているが、バスの便数を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> バスの便数は利用状況や導入機能により変わるので今後の検討事項とする。自動運転等の技術など情報収集をしていく。
16		<ul style="list-style-type: none"> 庁舎建設まで期間があるため、自動運転等が普及し、導入されることも考えられる。上手に活用すれば、買い物や来庁等も今より快適になると思う。 	
17	委員会のあり方・論点	<ul style="list-style-type: none"> 本委員会は、庁舎整備についての委員会と認識しているが、議論の中で話が飛躍し過ぎているところが多々ある。交通網の整備や道路整備については、本来であれば、都市計画マスタープラン等上位計画の委員会で議論すべき内容かと思う。 今はひとまず、事務局が進める現庁舎敷地での建替え案を軸に検討を進めながら、別の視点があればこちらから提示して進めるべきかと思う。 	—
18	市民への発信	<ul style="list-style-type: none"> 市民にアピールするためには、どのような庁舎をつくるのか、目指す方向性が分かるような言葉が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念を「人にやさしい出会いとつながりの場」とし、手続き等市民が使いやすいのはもちろんのこと、そこで市民協働が促進されるような庁舎に

No.	意見分類	第3回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
			<p>したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画の導入機能を決める段階で具体的に検討し、市民に発信したい。
19	庁舎のイメージ・求める機能など	<ul style="list-style-type: none"> 建設場所で100%満足させることは難しい。市民としては費用的にあまり負担がなく、前より使い勝手の良い庁舎になれば良いと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎整備にあたっては、市民の利便性の向上が重要と考えている。今回頂いたご意見や基本計画段階で予定しているワークショップ等の意見を踏まえながら検討を進める。
20		<ul style="list-style-type: none"> 市民から憧れられる職場となることを目指すべき。制服の変更やDX活用による職員の負担軽減などを打ち出していき、魅力ある庁舎にしてほしい。 イメージをつくっていく必要がある。現状の書類に埋もれながら執務するイメージではなく、民間オフィスのように明るいイメージを取り入れることなど、検討してはどうか。 	
21		<ul style="list-style-type: none"> 市民目線でワンストップ化は非常に重要。ぜひ検討を進めてほしい。 良い建物つくる＝良い組織をつくるということではない。ワンストップ化・DX化等ソフト面での戦略を持たないと、中身が以前のままの新庁舎になってしまう点は留意が必要。 AI、RPAを活用することで、職員の方の市民対応の負担が減り、他の色々なことができるようになる。今後もイメージを共有したい。 	
22		<ul style="list-style-type: none"> 市の立地や市役所の場所によって、窓口における需要が異なるため、すべての人がワンストップでとするのは難しい。橋本市の需要を整理・類型化し、窓口の在り方を検討するのが良いと思う。 	
23	市の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 橋本市に魅力やアピールしていけるものがあればなと思う。 将来、人口の自然増加は見込めない。移住先として選ばれるような取り組みが必要。窓口に来られる方は新規顧客との捉え方で進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> シティプロモーション課の取り組みを中心に、移住相談が増加している状況。そのような施策も打ち出し、魅力的なまちづくりを進めていく。
24		<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎整備は、橋本市の考え方を示す機会にもなると思う。市は何を軸に考えていくのか、答えられるようにする必要がある。 	